事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	20058
事業名	広報誌等発行費					
評価担当課	所属	総)広報部 広報課			電話番号	011-211-2036
施策名	-					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	広報さっぽろは、市政の重要な施策や課題について市民へ情報提供し、政策形成過程での市民参加を実現することと、市民生活に必要な情報を周知し、各種制度への理解や事業への市民参加を促進することを目的に昭和25年1月より発行。平成30年5月号からはイベント情報を削減してページ数を減らし、印刷経費の削減を図る一方、市の取り組みや課題を伝える特集・企画記事を充実させるリニューアルを行った。 イベント情報は平成28年10月からデータ放送とスマートフォンアプリ(令和5年3月末でサービスを終了)で配信を開始。また、データ放送などのデジタル機器の利用が難しい方のために、平成30年5月号から「イベント情報はこちらでチェック 札幌市からのお知らせ(以下、「イベント情報をまとめた冊子」という。))を作成している。
	事業内容(何を実施し)	◆「広報さっぽろ」の編集・発行:毎月1回発行。全市版(22ページ)は広報課が、区版(6ページ)は各区広聴係が編集し、印刷会社で印刷・製本している。配布は、町内会等への依頼やポスティング業者、障がい者施設への委託により、全世帯へ行っている。 ◆「イベント情報をまとめた冊子」の編集・発行:毎月1回発行。市のイベント情報などを紹介。10区版を作成し、区役所や郵便局などで配布。 ◆地上デジタルテレビのデータ放送による市政情報の配信(毎週水曜日更新)。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	市政の重要な施策や課題、市民生活に必要な情報について市民へ情報提供し、政策形成過程や事業への市民参加を促進する。
	他都市の状況	広報誌は、判型やページ数などは自治体によって異なるが他政令市においても発行されている。
	市民参加の実施	■ 企画 ■ 実施 ■ 評価 □ 対象外

令和4年度決算額	431,611 千円	うち特定財源	117,612 千円	正規職員業務量	6 人工
令和5年度予算額	494,830 千円	うち特定財源	117,612 千円	正規職員業務量	6 人工
令和5年度決算額	488,583 千円	うち特定財源	121,044 千円	正規職員業務量	6 人工
令和6年度予算額	578,014 千円	うち特定財源	121,044 千円	正規職員業務量	6 人工

指標	アウトプット活動指標1	「広報さっぽろ」発行部数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		1,078,792	1,087,000	1,086,007	1,090,000		
	アウトカム成果指標1	広報誌を読んでいる(必ず読む、時々読む)市民の割合				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		71.40%	80%	71.20%	80%		
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方		世帯数増加に伴い発行部数は増加。成果指標は70%以上の水準を維持しており、今後もあらゆる世代の市民に親しまれ、読んでいただけるような魅力的な広報誌を目指し、誌面の工夫・改善を続ける。				
	アウトプット活動指標2	データ放送のPV数(視聴者がコンテンツを閲覧した総数)				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		-	-	21,117	22,000		
アウトカム成果指標2	データ放送での情報配信を知っていたと答えた方の割合				という状態にしたい、成果を挙げたい		
	令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	-	-	32.30%	40%			
指標2の評価、未達理由、今後の考え方		令和6年度より指標を変更。より多くの市民に利用していただけるよう、継続的な周知を行うとともに、タイムリーな情報の配信を継続していく。					

今年度の見直し内容 前年度に引き続き連載ページの掲載方法やテーマを再検討し、新連載を立ち上げるなど、誌面の閲読率のさらなる向上を図るための改善を行った。

来年度以降の方向性 新規企画・連載の充実や誌面の工夫・改善を続け、あらゆる世代の市民に親しまれ、読んでいただけるような魅力的な広報誌を目指し、誌面作りを行う。また、世帯数増加に伴う発行部数増加や、配送・配布業界の人手不足・人件費高騰に伴う委託費増加の傾向にあるが、今後も同程度の予算で実施できるよう工夫する。